



鹿児島県の伝統的工芸品を新しいインテリアスタイルに

三井ホーム鹿児島株式会社

オーナーサポート部 池田 ルミ

三井ホーム鹿児島は、三井不動産グループ会社として、鹿児島県・宮崎県を中心に、戸建て住宅をメインとした木造建築物の営業・設計工事管理・オーナー様の建物メンテナンス業務・増改築工事を含むリフォーム工事全般・賃貸住宅・医院建築・大規模木造住宅事業など、建物に関して幅広く業務展開を行っており、さらにインテリアのアドバイス等にも力を入れお客様から高い評価をいただいております。

2022年度の鹿児島県の伝統的工芸品新商品開発・販路開拓支援事業(コンソーシアム事業)参加のお話をいただき、ハウスメーカーとして鹿児島の伝統的工芸品を全国のマイホームのインテリアとして採用していただきたいとの想いや、伝統工芸の技を未来へ繋げたいとの想いで、商品開発のプロジェクトをスタートさせました。そして商品として完成させたのが、手漉き和紙と真竹を使った時計「TRAD Flow」3点でした。

具体的には、製作にさつま町の鶴田手漉き和紙さん、鹿児島市の竹工芸振興組合さん、鹿児島市のNOZOMU工房さん。イベント監修に、三井不動産グループの三井デザインテック、技術支援に鹿児島県特産品協会さん、鹿児島県工業技術センター、という体制で連携を図り具体的な開発を進めていきました。

3種類のうち、「彩」「然」と名付けられた時計は、2重に和紙が貼られ、表面は透かし柄の文様が使われております。

この文様は、鹿児島県工業技術センターが研究されている、薩摩焼の文様による型板の技術協力を得て、落水(ラクスイ)という独特な技法を用いる事で、広い面積の隅々まで均一な透かし模様の和紙を作り出す事に成功。

手漉き和紙の上から、さらに文様の付いた透かし和紙を重ねる事で、より文様を浮きだたせて、和紙本来の質感や手触りが感じられる美しい手漉き和紙を完成させる事が出来ました。

手漉き和紙に、さらに薩摩焼の文様を透かし模様として取り入れた技法は、鹿児島県工業技術センターのアドバイスが無ければ、想像すらしない技法でした。真綿のような白い透かし模様入りと、桜島にたなびく彩雲をイメージして彩色に染色された透かし模様の手漉き和紙は、とても繊細で存在感があり、鹿児島らしい唯一無二の手漉き和紙が完成した事は、ひとえに鹿児島県工業技術センターのお力添えによるものでその技法は大変素晴らしいものと捉えております。

鹿児島の真竹を輪弧編みにして制作された「編」と名付けられた時計とともに、翌年の2023かごしまの新特産品コンクールに出品し、「TRAD Flow“編”“彩”“然”」は、県特産品協会理事長賞という大変名誉な賞をいただく事が出来ました。

現在は、全国のマイホームのインテリアとして多くのお客様の元へ届けられています。新しいお住まいに、新しく時を刻む伝統工芸を融合させた時計によって、日常がより豊かになる事を願わずにはられません。



TRAD Flow“編”“彩”“然”

